

令和元年第10回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和元年 8月29日(月) 午後2時00分から午後3時40分

○場 所

筑紫野市役所 301会議室

○出席委員(5名)

| | | | |
|------|--------|------|-------|
| 教育長 | 上野 二三夫 | 教育委員 | 近本 明 |
| 教育委員 | 潮見 眞千子 | 教育委員 | 田代 邦夫 |
| 教育委員 | 西村 幸子 | | |

○欠席委員(0名)

○出席説明員(9名)

| | | | |
|-------------|--------|--------|-------|
| 教育部長 | 長澤 龍彦 | 教育政策課長 | 森 敬 |
| 学校教育課長 | 吉開 和子 | 学校給食課長 | 倉掛 伸夫 |
| 生涯学習課長 | 檜木 理恵 | 文化財課長 | 宮原 博揮 |
| 文化・スポーツ振興課長 | 大久保 泰輔 | 指導主事 | 糸 永啓士 |
| 社会教育主事 | 砥綿 麻衣 | | |

○出席事務局職員(1名)

| | |
|-----------------|-------|
| 教育政策課 庶務担当係長 | 葉山 順子 |
|-----------------|-------|

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について
令和元年第9回筑紫野市教育委員会会議録(令和元年8月5日開催)
2. 教育長の報告について(別紙)
3. 議案第24号 平成30年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算教育費について
4. 議案第25号 平成30年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について
5. 議案第26号 令和元年度学校運営協議会委員の委託について
6. 議案第27号 筑紫野市山家幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について

7. 議案第28号 令和元年度筑紫野市一般会計補正予算（第1号）教育費について
8. 部課長の報告について
9. その他
10. 次回の日程 令和元年9月26日（木）14時00分 301会議室

会議録

○教育長：ただいまより令和元年第10回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。

議事日程の順序に従い、会議を進めます。

なお、発言は議長の許可を得た後にお願いをいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長：令和元年、今月5日開催の令和元年第9回筑紫野市教育委員会会議録について、この件についていかがでしょうか。

○（特になし）

○教育長：ありがとうございました。それでは、この件については承認をいただいたものといたします。

日程第2、教育長の報告の件

- ・挨拶運動について
- ・夏休みを振り返って（地域の夏祭り等への参加、暑さ対策・各中学校自販機を設置、教職員不祥事をめぐる懲戒処分及び不祥事防止について）
- ・学校運営に関して（全国学力・学習状況調査の結果、いじめ・不登校を生まない魅力ある学校づくり、市の教育力向上一斉研修会、教職員の働き方改革のすすめ、全教職員に対する計画的な面談）
- ・学校閉庁日の実施について
- ・学校図書館の充実について
- ・小学校の教科用図書が教科決定について
- ・小学生読書リーダー養成講座・中学生読書サポーター養成講座と

○西村教育委員：学力調査の分ですが、今年度よいポイント数、点数が出ています。今までの分と算出方法が違うということで、一概に比較はできないということですが、今年度の中学生の点数でいくと、この子たちが平成28年度の小学6年生の調査を受けた子ではないかと思えます。平成28年度の調査結果でいくと、かなり点数が悪かった子たちが今年度いい点数を出しているところに着目して、先生方の分析の仕方や指導の仕方など、どのような3年間があり、成績が上がったのかということの研究課題として少し調査をしていただき、これをどのように活用していくかを持続し指導していただくと、またいい点数が続いていくと思えます。平成28年度の小学6年生だった子たちが、いい努力の仕方だったと思えますので、指導主事が今日は欠席なので、教育長から御指導でお願いしたいと思えます。

○教育長：わかりました。

○潮見教育委員：筑紫野市も学力が上がったということを知って、ああ、よかったなと思いました。が、市内の学校間の格差というのはどうでしょう。

○教育長：あります。

○潮見教育委員：大きいですか。

○教育長：少なくなりました。

○潮見教育委員：少なりましたか。よかったです。

○教育長：はい。本当に。ですから、こうやって褒めました。小さな学校、大きな学校かかわらず、やはりどうしても市内の中での格差がありましたが、大分縮まりました。

○潮見教育委員：それは、本当に先生たちのお力だと思います。

○教育長：はい。校長の力じゃ何もできません。やはり、本当にそれを本気で取り組んでくれる先生たちがいてくれるからできるのです。しかも地道に継続して、時間をかけてやっているからです。そういった意味で、本当にいい結果が出ていますので、非常にありがたいです。

○近本教育委員：裏を考えると、やはり校長さんたちがよく頑張ってくれたということと、教育長が的確な指導をしているということです。ただ、点数が平均より良くなったからということで安心したらいけません。〇〇地区は少し点数が低いでしょう。ところが、点数が低いという見方をすると同時に、ああいう教育条件の、言うなれば整わないところであられだけ上げているということも裏から見て参考にしないといけません。それはもう、家庭訪問とかを一生懸命やって、寄り添っています。今、筑紫地区全体のいろんな話を聞くと、家庭訪問をしてはいるみたいだが、何でこんなことしないといけないのかということ、そこで切っているところがあるようです。それは余り子どもにとってよくないと思います。これ以上何でしないといけないのと、そこで諦めているようです。働き方改革もかかわりますが、そのように逃げてしまうと子どもにとってはあまりよくないです。そこら辺も踏まえながら指導してもらいたいと思います。

○教育長：やはり家庭における学習習慣が大切です。親が少し寄り添って試みるのが重要です。中学校の中間考査あるいは期末考査のときに、妹も弟もお兄ちゃんたちと一緒にそのときは勉強するという習慣がつくとよいでしょう。そして親が、「少し1時間テレビ消そうかね」とか、そういうことを東北の秋田あたりはできているようです。それをまねしろとは言いませんが、少なくとも、各家族の中でできるような、そういう家庭学習生活、学習習慣あたりをもう少し呼びかけたいと思います。

今おっしゃったように、家庭訪問も、熱心な先生と、少し冷めた先生も中にはおります。そのあたりのことについて、もう少し話をしながら、やはり子どもたちに寄り添っていただきたいと思います。二日市北小あたりはすごかったですよ。もう夕方になるとみんな、それぞれの気

になる子の家に行って、上がって、親が帰ってくるまで少し勉強を見てやったり、そうしたら親がお礼言いに来るでしょう。すると子どもはそれを見て、「よし、また頑張ろう」となるのです。そういった意味では、時間をいとわずにというのも問題ですけども、その気持ちが、親あるいは本人の心を動かすのです。そういうこともございましたので、ぜひそのあたりは私たちも指導を続けたいと思います。

○潮見教育委員：先日、県の教育事務所の研修を受けたときに出てたお話で、今、近本先生のお話を聞いて思い出したのですが、やはり、学力がどうして大事かと言ったら、生きていく力につながるということでした。その学力の差というのが生活環境の、困窮しているとか貧困の差とか、そういうことにもつながっているそうです。そのところをやはり親御さんにも、学力がどうして大事なのか、単純に数字が上がるだけというのでなくて、生きていく力をつけるために大事だということ、情報発信していけたらいいと思いました。

○田代教育委員：今の話と一緒にですが、私はちょっとへそが曲がってしまっていて、違うふうにするのです。学力そのものが高い低い、高いに越したことはないと思うのですが、やはり、やったことが成果に結びついたという、これはやっぱり自信になります。これは運動もそうですし、勉強などの自信ってすごく大きいものがあると思います。やっただけのことがあったという感じです。それを実感させるというか、体験してもらうことが大事だと思います。学力は落ちたり下がったりすると思いますが、その自信だけはずっと一生ついて回ると思います。

○潮見教育委員：達成感です。

○田代教育委員：そうです。

○教育長：主体的、多様な深い学びというのは、子どもたち同士で意見を出し合いながら、自分の考えを出し合いながら、自分の考えを少しみんなに認められた、うなずいてくれたとか、そういうちょっとしたきっかけづくりというのは授業の中で出てきます。そういうのをもっともつとするというのは、田代委員が言われたように、「よし、じゃあ今度はこんなこと言ってみようかな」とか、そのようになれば、これは本当いい方向に、クラスみんながそうになっていくから、そういった意味で、ぜひ達成感を味わえるような授業づくりも含めてやっていかなくてはならないと思います。

○田代教育委員：西村委員が言われましたように、成績が悪い子は悪いなりにそれでも上がったなど、その辺の実感があると思います。

○教育長：わかりました。そのあたりはしっかり担任がそこを見て、個々の子どもたちの伸びをしっかり評価してやるというのも当然必要ですから。わかりました。大事なところをありがとうございます。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：ありがとうございました。それでは、教育長報告はこれで終わらせていただきます。

日程第3、議案第24号、平成30年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算教育費についての件

○教育政策課長：（提案説明）

○教育長：この件につきまして、御異議などありませんか。

○（特になし）

○教育長：この件については御異議なしと認めます。よって、本件については議案のとおり承認をいただきました。

日程第4、議案第25号、平成30年度筑紫野市奨学資金貸与特別会計歳入歳出決算についての件

○学校教育課長：（提案の説明）

○教育長：この件につきまして、御異議などありませんか。

○（特になし）

○教育長：この件については御異議なしと認めます。よって、本件については議案のとおり承認をいただきました。

日程第5、議案第26号、令和元年度学校運営協議会の委嘱についての件

○学校教育課長：（提案の説明）

○教育長：この件につきまして、御異議などありませんか。

○（特になし）

○教育長：この件については御異議なしと認めます。よって、本件については議案のとおり承認をいただきました。

日程第6、議案第27号、筑紫野市山家幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定についての件

○学校教育課長：（提案の説明）

○教育長：何か御質問等ありませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、承認することで御異議ないということで、本件については議案のとおり承認いただきました。

日程第7、議案第28号、令和元年度筑紫野市一般会計補正予算（第1号）教育費についての件

○教育政策課長：（提案の説明）

○教育長：これについて何か御異議などありませんか。

○田代教育委員：筑紫小については、周囲全体が崩れやすい状況です。

○教育政策課長：そうです。ただ、その法面全て学校用地というわけではありません。法の部分の中には個人の土地も入っています。ですから、今後、民地の部分も含めてどういう対策をとっていくのが課題です。

○近本教育委員：プールの南側あたりは整備して、道路ができるような話が前にあっていましたが、それは消えたのですか。

○教育政策課長：正確にはわかりませんが、区画整理事業の西口の関係で、当初はかなり広範囲、筑紫小学校も含めたところでの整備をするというところで事業計画区域が定められておったかと思いますが、事業の規模縮小に伴って、その分もなくなったと思います。これも推測で申しわけございません。

○西村教育委員：法面が、民間私有地があるということになると、崩れる場所はどこかわからないので、市の所有地でしたら市がすぐに着手できると思いますが、民地が崩れたりすると、やはりその土地の所有の方が手入れをしないとできないということですか。

○教育長：はい。

○西村教育委員：しかし、子どもの安全上それをいち早くやっていただける方なのかというのはわからないので、そういうところはどのような手はずでいくものなのでしょうか。

○教育政策課長：当然個人で何か対策をしようと思ってもなかなか難しいです。市としても、個人の土地ですから、簡単に、「さあ、じゃあ、やりましょうね」というわけにもいかないというところが難しいところです。

○西村教育委員：やはり、何十年に一度の豪雨と言っていたものが毎年の豪雨になっているので、こういう災害対策をこまめに気をつけていかないといけないと思います。

○教育長：貴重な御意見だと思います。ありがとうございます。ほか、よろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：それでは、承認することで御異議ないということで、本件については議案のとおり承認いただきました。

それでは、以上で本日の議事は無事終了いたしました。

続きまして、各課等からの報告に移りたいと思います。

○教育部長の報告

- ・令和元年第4回の筑紫野市議会定例会の日程等について

○学校給食課長の報告

- ・学校給食の開始について

○生涯学習課長の報告

- ・夏休み青少年の育成事業について（「BGレンジャー」「ステキな夏休み教室」）

○文化・スポーツ振興課長の報告

- ・第62回福岡県民体育大会の夏季大会の結果について
- ・令和元年度の筑紫野市立小学校プール一般開放について
- ・小学生の読書リーダー、中学生の読書サポーター養成講座について

○潮見教育委員：プール開放の件ですが、何か熱中症対策みたいなことはとりたててされたのでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：監視員のほうで、プールに30分入ったら5分休憩と案内しており、その5分の休憩の間には必ず水を飲んでくださいと伝えています。子どもたちにも水筒を持ってきてくださいと周知しています。それから、休憩するときは日影があるところでゆっくりと体を休めてくださいという案内も随時しておりました。

○潮見教育委員：それで何事もなく終わってよかったです。

○文化・スポーツ振興課長：はい。熱中症などでの事故はありませんでした。

○西村教育委員：プールに関してですが、近年の猛暑が大変なことになっていて、天気予報でも危険な暑さですという予報になったりしているので、これから先こういう猛暑が続くのであれば、屋外施設のプールというのは、思っているより体力が奪われていると思いますので、朝9時の時点で35度を超える予報になったら利用を中止するとか、そういう高温対策というのがあるといいと思います。

○文化・スポーツ振興課長：まず、子どもたちの体調管理ということで、保護者の皆様には夏休みの前に案内を配り、プールに送り出すときには子どもさん方の体調管理をまず見てくださいということをお願いしています。それから、プールに子どもたちが来れば、受付をする監視員がおりますので、受付で子どもたちの様子をまず見るということをしています。それで、子どもたちがプールを利用するときには、先ほど言いましたとおり、常に水の補給など、案内しております。委員もおっしゃったように、これから気温が高くなって、子どもたちが熱中症にならないような対策など考えていかなくてはと思っています。

○田代教育委員：今、プールの話になっていますが、高温対策というのは水泳に限らず、ソフト

ボールとか野球とかについても一緒です。夏休みは本当にいろんな大会がメジロ押し状態になっていて、たまたま何事もなく済んでいるという状況だと思います。以前からすると確実に気温が上がっています。このままでいいのかといつも思っております。そういう状況です。

○教育長：できるだけ開始時間等も考えていることなのでしょうけど、余り早くすることもできませんでしょう。

○田代教育委員：周辺の地域がありますから、なかなか9時前にスタートするというのは難しいです。

○近本教育委員：今の話と少し違いますが、水泳大会、御苦労さんでした。第6位。以前これが始まったころは、筑紫野市と北九州市と福岡市が競っていたのです。筑紫野市は優勝したことはないけれども、2番にはなれていました。そのぐらい強かったのです。

○近本教育委員：平山君がまだ生きています。そして、あの大会で筑紫野市が伝統として受け継いでいるのは、閉会式のときに筑紫野市だけ全員閉会式に参加していました。そして、それが終わって、ごみ拾いも筑紫野市の子どもと大人が全部拾っていました。そういう伝統を平山君を中心に始め、二日市中学校、各中学校の水泳部だった子どもたちがしています。これは大事にしていきたいと思います。

それと、もう一つ。プール開放は、このころは、初めは海水浴にバスで行っていました。どの学校も、プールがあっても海に行っていたのです。それで、それを計算すると、今のお金でいうと1人2,000円くらい必要でした。バス借りるので、すごく金がかかっていました。ですから、「学校にプールがあるのに、そこまで行かなくてもプールを使えばいい」という発想で始めました。暑さ対策もありますが、そのころはそれよりも、獣体、獣のような体に人身を培おうというようなことを目的としていました。生水飲んでも腹を壊さないような体を作る。少々暑いときは「水ひっかぶっとけ」という感じです。時代の流れとともにだんだん変わっていきました。

それで、今の流れとすると、いろんな行事を変更するか、またはカットするかになる時代になってきました。今のような気候現象では、いずれそこも考えないといけない時代になってきたかと思っています。体育会にしても、外でやる運動、行事はどの行事もそこまで考えないといけないと思います。

○教育長：だんだん変わってきていますので、そのあたりまで含めて検討を始めたほうがいいでしょう。

○近本教育委員：市民の理解や保護者の理解も必要です。

○教育長：このプール開放は本当にいい事業です。子どもにとってみれば、地元で安心して泳げます。どこの学校のプールでも使えますか。

○文化・スポーツ振興課長：はい。筑紫野市内の子であれば、どこの小学校のプールでも利用す

ることができます。

○文化財課長の報告

- ・五郎山古墳館のイベントについて
- ・歴史博物館のイベントについて

○その他

○潮見教育委員：西村さんと一緒に女性教育委員研修会研修というので、今まで年に3回ぐらい参加させていただいていたのですが、今回で終了ということになります。

○西村教育委員：閉会するということです。解散です。

○潮見教育委員：今の社会情勢に合わせて解散となりました。

○西村教育委員：女性という冠がつくのはどうかということと、発足のときは三十何名で、女性が教育委員として少ないころでした。今は教育委員全体の半数を女性が占めるようになってきたので、一定の効果があったのではないかという判断とのことです。

○潮見教育委員：市から公費、参加の会費、負担金を出していただき参加させていただいたので、お礼を一言。ありがとうございました。何かに生かしたらいいと思います。

○教育長：ありがとうございました。結構長く続けました。

○潮見教育委員：長かったです。30年くらい続いたそうです。今までの研修内容をまとめる冊子をつくるそうです。

○教育長：来年度からはもうこの研修会はなしということでしょうか。

○西村教育委員：また違った形に変えて何かできればいいなということをおっしゃっていました。

○教育長：そうですか。参加していただきありがとうございました。

○潮見教育委員：こちらこそお世話になりました。ありがとうございました。

○教育長：これもちまして、令和元年第10回筑紫野市教育委員会定例会を閉会いたします。